

本日、TV各社のニュースで県議の「高額海外派遣見直し」の記者会見と署名行動が放映予定

8/10(木) 10時から県政記者クラブにおいて【明るい民主県政をきずく香川県連絡会】が「高額な県議会議員の海外派遣の見直しを求める陳情署名」の活動開始の記者会見を行い、幹事団体として香川民医連からは大西和子会長が出席し、今回の高額海外派遣の問題点について訴えました。

記者会見には、KSB、OHK、RNCの各テレビ局と新聞各社が参加されました。本日夕方の各局のニュースで放映予定です。

また、記者会見に続き、12時から13時に田町商店街交番前において署名スタートの街頭署名宣伝行動を行いました。加盟各団体から30名ほどが参加し50分ほどの間に60筆の署名が集まりました。またこの時点ですでにスタートしているネット署名は1700筆となっていることが報告されました。署名は9月1日期限でお盆も入れて1か月の短期決戦で最低1万筆をめざしています。この街頭署名の取材には、TVせとうち以外すべてのTV局が取材に駆けつけてくれました。

すでに下記の署名用紙が各事業所に配布されています。ネット署名でもOKですので大いに署名を広げて下さい。



今回の高額海外派遣の問題点を話す大西会長



署名活動の開始を宣言する樫県議



大挙して参加したこどもクリニック

議員の豪華海外旅行に全国から驚きの声！ 署名で海外派遣をやめさせよう！

香川県議会は8月県議会で、総額2100万円以上の公費を使い、県議8人をブラジル・パラグアイ・アメリカへ派遣する内容を賛成多数（反対【3人】）で議決しました（7月12日に議員1名が派遣を辞退）。

航空券代や通関代など、1人あたりおよそ263万円。移動の飛行機はビジネスクラス、航空代には、全席で1人あたりおよそ187万円がかり、また、ロサンゼルスを訪れた際に、県議たちが宿泊するのは、1人1泊6万6,000円する高級ホテル。派遣の目的は、移住者や現地の農人会の友好親善を図るためだといいますが、8人も派遣する必要があるのでしょか。知事が参加するのであれば、議会議長は1名で十分ではないでしょうか。これまでと同様の派遣で、知事と議長一人が参加したこともありましたが、全国平均から見ても多すぎます。

今、県内で働くワーキングプアと呼ばれる年収200万円以下の人が、約8万4000人、働く労働者の約2割にもなります。また、この間の物価高騰も受け、県民生活が苦しい中、議員が一人あたり約263万円以上もかけての豪華海外旅行に行くことは、県民感覚からは大きく離れた認識であり、到底納得できるものではありません。こんな議員特権の海外派遣はやめべきです。

全国平均から見ても突出している香川県議会の海外視察

海外視察議員数※都道府県議会 県民人口費と費用総額（抜粋）
全国市民オンブズマン連絡協議会調べ（2019年6～8月）

都道府県	派遣議員数	人口10万人あたり派遣議員数	2017年人口(万人)	支出費用総額
東京都	21	0.2	1,372	37,304,000
大阪府	19	0.2	882	10,938,214
徳島県	0	0	74	0
香川県	83	8.6	97	91,332,000
愛媛県	38	2.8	136	36,569,320
高知県	15	2.1	71	10,219,280

※派遣人数が0人の県は2県で、岩手県、埼玉県、福井県、三重県、滋賀県、奈良県、徳島県、佐賀県。

南米派遣予定議員名

山本 直樹	自由民主党香川県議会
新田 耕造	自由民主党香川県議会
森 裕行	立憲・市民派ネット
氏家 幸志	自由民主党香川県議会
山本 恒史	香川県議会国民民主党議員会
白川 和幸	自由民主党香川県議会
栗石 明敏	自由民主党香川県議会
岩間 陽子	維新みんなの会 後日辞退

旅費返還訴訟で「観光」については全額返還を命じている

明るい民主県政をきずく香川県連絡会や市民オンブズマンが、2016～17年の議員の海外視察4件について費用返還を求める訴訟を起こし、21年12月、高松地裁はこれらの海外視察が「実質的には観光」だったとして、議員20人に対し、計約760万円の返還命令を出しています。

こうしたことへの反省もなく、高額な海外派遣を行う香川県議会に抗議の声を届けましょう！

「高額な県議会議員の海外派遣の見直しを求める陳情署名」はネット署名も集めています。ご協力をお願いします。

【取組団体： 明るい民主県政をきずく香川県連絡会 〒700-0067 高松市松福町2-20-22】 ネット署名QR

議員の豪華海外旅行に全国から驚きの声！ 署名で海外派遣をやめさせよう！

香川県議会は8月県議会で、総額2100万円以上の公費を使い、県議8人をブラジル・パラグアイ・アメリカへ派遣する内容を賛成多数（反対【3人】）で議決しました（7月12日に議員1名が派遣を辞退）。

今、県内で働くワーキングプアと呼ばれる年収200万円以下の人が、約8万4000人、働く労働者の約2割にもなります。また、この間の物価高騰も受け、県民生活が苦しい中、議員が一人あたり約263万円以上もかけての豪華海外旅行に行くことは、県民感覚からは大きく離れた認識であり、到底納得できるものではありません。こんな議員特権の海外派遣はやめべきです。

全国平均から見ても突出している香川県議会の海外視察

海外視察議員数※都道府県議会 県民人口費と費用総額（抜粋）

全国市民オンブズマン連絡協議会調べ（2019年6～8月）

都道府県	派遣議員数	人口10万人あたり派遣議員数	2017年人口(万人)	支出費用総額
東京都	21	0.2	1,372	37,304,000
大阪府	19	0.2	882	10,938,214
徳島県	0	0	74	0
香川県	83	8.6	97	91,332,000
愛媛県	38	2.8	136	36,569,320
高知県	15	2.1	71	10,219,280

※派遣人数が0人の県は2県で、岩手県、埼玉県、福井県、三重県、滋賀県、奈良県、徳島県、佐賀県。

南米派遣予定議員名

山本 直樹	自由民主党香川県議会
新田 耕造	自由民主党香川県議会
森 裕行	立憲・市民派ネット
氏家 幸志	自由民主党香川県議会
山本 恒史	香川県議会国民民主党議員会
白川 和幸	自由民主党香川県議会
栗石 明敏	自由民主党香川県議会
岩間 陽子	維新みんなの会 後日辞退

旅費返還訴訟で「観光」については全額返還を命じている

明るい民主県政をきずく香川県連絡会や市民オンブズマンが、2016～17年の議員の海外視察4件について費用返還を求める訴訟を起こし、21年12月、高松地裁はこれらの海外視察が「実質的には観光」だったとして、議員20人に対し、計約760万円の返還命令を出しています。

こうしたことへの反省もなく、高額な海外派遣を行う香川県議会に抗議の声を届けましょう！

「高額な県議会議員の海外派遣の見直しを求める陳情署名」はネット署名も集めています。ご協力をお願いします。

【取組団体： 明るい民主県政をきずく香川県連絡会 〒700-0067 高松市松福町2-20-22】 ネット署名QR